

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
3【そなえる】	⑬【災害時における情報の収集・活用・伝達】 震災津波の被害による教訓をもとに、情報の大切さ、情報の収集・選択・判断、発信の方法等について理解し、活用できるようにする。	総合的な学習の時間

【題材】

『伝えよう！震災から学んだこと』
～笹間第二小学校との交流学习を通して～

【対象】

釜石市立唐丹小学校5・6年22名
笹間第二小学校全校児童20名

【実践の概要・詳細】

震災に関する地域の状況を調べること、自分の体験、災害へのそなえ、まちづくりへの願い等について他校と交流を図り情報の伝達を行った。

唐丹小の桜

【実践の内容】

『唐丹小発表プレゼンより』

2011年3月11日14:46に起きた大きな地震と津波によって私たちの学校は大きな被害を受けました。これは2日後の3月13日に撮影した体育館の様子です。

私たちは地震が起きるとすぐに校庭に避難し、そこから近くの高台に登って無事に助かることができました。それから、スクールバスや地域の方々の方々の軽トラなどに乗せてもらって公民館に避難し、そこで一夜を過ごしました。

私たちの住む唐丹町の桜並木は多くの方が訪れる桜の名所です。小学校にも桜が植えられていましたが、傷ついたり、枝が折れたりしながら、残った2本の木がきれいな花を咲かせました。私たちの勇気のシンボルとなりました。これは学校再開から4日後の写真です。この校舎は今では解体されてなくなっています。

被災した体育館

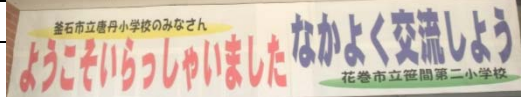
唐丹小学校では、毎年7月、支援してくださった方々に感謝の気持ちを伝える七夕集会を行うことにしました。感謝の気持ちや、復興への願い、将来の願い事を短冊や手紙に書くとともに、自分達にできることを考えるよい機会にしています。

避難した高台から見た地域

これまでの皆様のご支援に感謝しています。おかげさまで私たち唐丹小学校60名はみんな元気です。新しい校舎も3年後には完成する予定です。私たちの笑顔が地域を明るくすることを信じて、これからもがんばります。本当にありがとうございました。

【授業の展開】

主な段階	主な学習活動
第1次 学習のねらいを知り、 学習の見直しをもつ。	1 震災時、自分が経験したことをまとめ、単元の見直しをもつ。
第2次 地域の様子や避難行動について調べ、 伝えたいことをまとめ交流会を行う。	2 震災による地域の状況や災害のそなえ等について調べ交流学習で伝えたいことをまとめる。 3 プレゼンを完成し、発表練習する。 4 交流会を行う。
第3次 単元の学習を振り返る	5 単元の学習を振り返り、交流会後の自分の考えをまとめたり、まちづくりへの願いを考えたりする。 6 学校新聞や個人新聞にまとめ、地域に発信する。



【まとめ】

- 交流学習を行い、他校のみなさんに被災当時の地域の状況や、災害の備えについて伝えることができた。さらに、自分の考えや感謝の気持ちを学校新聞や個人新聞に書き、これからのまちづくりへの願いや自分の生き方を考える良い機会となった。
- 『そなえる』の価値における取組として、他校と交流を図り情報の伝達を行った。心のケアの面から取組の内容の検討をしながらの実践であったが、児童が他校のみなさんに伝える目的をもつことで災害への備えについての大切さを考えることができた。



交流会を終えて広報委員会が作成した学校新聞